

林業技術センター
普及班便り
(第19回)

あなたの山づくりを応援する林業普及

いわての林業経営者【その6】

◆私達親子は「山が縁が木の香りが大好き」

今年も山と一緒の一年

一 はじめに

今回は、「山と一緒に過ごしたい」と今年一年の抱負を語る、西和賀町で林業に取組む女性、高橋祐子さんを紹介します。



高橋祐子さん

二 嫁ぎ先が「山」

(1) 嫁入り

高橋さんは、地元の高校を卒業後、盛岡市内の銀行員として勤めた後、現在の家に嫁いだそうです。夫はサラリーマンで「土日百姓・土日山仕事」。女の子三人の子宝に恵まれ、義母と6人暮らし。嫁いで二十数年、今では地域で欠かせない存在になっています。

(2) 自分の山の手入れ

山林約3ha・水田4ha・畑1aを

所有する農林家に嫁入りした直後から、二代目の義父に山に連れられ「自分の手入れする山の区域」が与えられました。下刈りなど、保育作業全てを任せられ、義父の作業を見よう見真似で覚え、自分に与えられた山の手入れを行ったそうです。

(3) 亡き義父の教え

「嫁ぎ先が『山』みたいなものです」と、厳しいながらも愛情を持って教えてくれ、「山と共に暮らす大切さ」を後世に引継ぎたいとの亡き義父の思いが、今私達が暮らす姿と笑顔で話していました。



当時手入れした木がこんなに...

三 林研活動で地域貢献

(1) 「さわうちカダゴの会」結成

夫の勧めもあって、県主催の婦人部の活動に参加した高橋さんは、エネルギーシユなグループ活動に感動し、森林組合の指導を受けて、自ら会長を引き受け結成したそうです。

(2) 「薪ストーブ世界」への貢献

「どうせ活動するなら地域に貢献する」活動をしたいと、強いリーダーシップのもと、新たな町の行動計画の一つ「薪ストーブ世界」の取組みに平成19年度全国林研グループが取組む「吸収源対策森林施業活動緊急支援事業」を導入して活動するなど、その活躍は、町の取組みの一役を担い大きく貢献することにつながり、地域から感謝されています。

四 高橋家にとって貴重な宝の「山」
(1) 春木山！

旧沢内村に居住している高橋さん



義母と薪ストーブの前に

の地域では、冬の暖房に薪ストーブは欠かすことのできないもの、その薪を確保するため、各家で「春木山」と呼ばれる焚き木採り用の山を持っており、雪解けを待って、春一番に家族総出でその年の焚き木採りをするそうです。高橋家にとっても、「山」は切っても切り離さない貴重な宝の「山」なのです。

四 山が縁が木の香りが大好き・頼もしい四代目！

三人の女の子さんに恵まれた高橋家。今年高校を卒業し、北上市内に就職する三女祐美華さんが、ふるりの「山が縁が木の香りが大好き」と、鋸や鉋を持つての焚き木採りや、林研活動に欠かさず一緒に出るなどの「山」に強い関心を持っているとのこと。頼もしい四代目！が、誇らしげな笑顔が印象的でした。



ツーショットの親子

林業技術センター 普及班